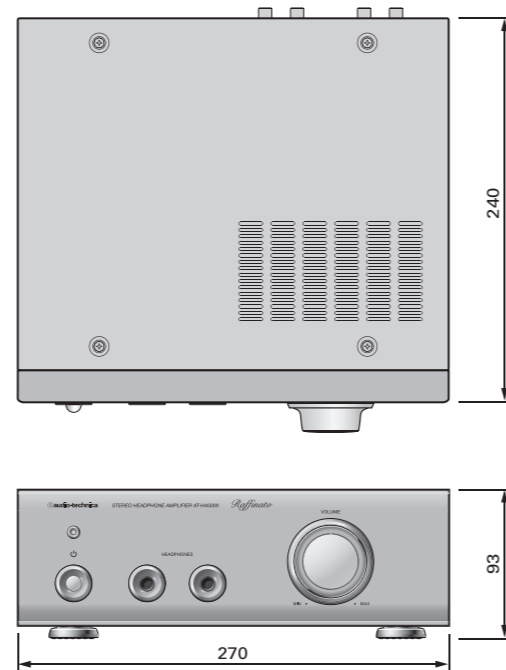
ブロックダイアグラム

テクニカルデータ

項目	仕様
型式	A級動作アンプ
推奨負荷インピーダンス	16Ω～600Ω
入力感度/インピーダンス	1.1V/50kΩ
定格出力 (20Hz～20kHz、0.025%)	2400mW＋2400mW（16Ω負荷） 1200mW＋1200mW（32Ω負荷） 600mW＋600mW（64Ω負荷） 65mW＋65mW（600Ω負荷）
周波数特性	5Hz～200kHz （＋0、－0.5dB　100mW出力時　32Ω負荷）
全高調波歪率	0.006% （20～20kHz、100mW出力時、32Ω負荷）
チャンネル間セパレーション	62dB（20～20kHz、32Ω負荷）
利得	15dB
SN比	117dB（JISA、入力ショート、定格出力時）
出力インピーダンス	0.1Ω
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	30W
入力端子	ライン入力（ピンジャック×2）
出力端子	ヘッドホン出力 （φ6.3標準ステレオジャック×2）
外形寸法	H93×W270×D240mm（突起部除く）
電源コード	インレットタイプ
質量	5.0kg
●付属品	φ3.5→φ6.3変換プラグ×2 電源ケーブル（2m）

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

外形寸法図（単位：mm）

＊保証期間はお買上げ日より3年です。
保証期間中でも、ケースを開けたりご自分で改造された場合は保証の対象外となります。
詳しくは添付の保証書をご覧ください。

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間･規定により無料修理をさせていただきます。
修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00～17：30）
製品の仕様･使いかたや修理･部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●**相談窓口（製品の仕様･使いかた）** 0120-773-417
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
●**サービスセンター（修理･部品）** 0120-887-416
（携帯電話･PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
●**ホームページ（サポート）**　www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp
222404724

取扱説明書

ステレオヘッドホンアンプ

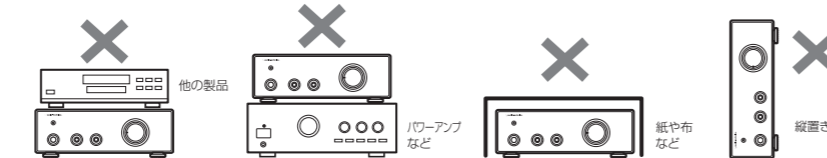
AT-HA5000

お買い上げありがとうございます。
お使いになる前にこの説明書を必ずお読みください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

特長

- ●A級1200mW+1200mW（32Ω）出力のヘッドホンアンプ。
- ●出力段にハイパワーMOS-FET採用。
- ●高信頼性ヘッドホンジャック採用。（ノイトリック製）
- ●高域位相のずれを極限まで追求した妥協のない特性。
- ●再生周波数5～200kHzでSACD／DVD-AUDIOなどのスーパーデジタルオーディオに対応。
- ●電源部は振動や磁気の漏れが少ないRコアトランス採用。
- ●不要振動を排除する真鍮削りだしのハイブリッドインシュレーター装備。
- ●黒檀を使用した重厚感あふれるフロントパネル。
- ●アルミ削りだしボリュームノブ。

フロントパネルについて

本機のフロントパネルには、楽器などに使用される音響特性に優れた重く硬い縞黒檀を使用しています。
縞黒檀は硬い黒い層とそれよりも幾分硬さが抑えられた層との縞模様の年輪構造になっており、この硬さの異なる層により互いの共振点を抑制しあう事で、制振効果を生み出します。この制振効果がアンプの振動を抑制する事で、濁りの無い高音質を実現しています。
これらの縞黒檀は天然木を使用しているため、縞模様が一台一台異なります。
世界に一台しかない「Raffinato」な風合いをお楽しみください。

⚠ 警告	**発熱、損傷、けが、火災、感電、故障などを避けるため下記のことを必ずお守りください。** ● AC100Vの電源で使用してください。 ● 異常な音、煙、臭いやケーブルなどの発熱、損傷などが出ましたら、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店か、当社の相談窓口までお問い合わせください。 ● 濡れた手で扱わないでください。 ● 電源ケーブルに、無理な力（重たいものをのせる、引っ張るなど）を加えないでください。万一、本体やケーブルなどが傷ついたときは、交換してください。 ● 分解や改造はしないでください。 ● 強い衝撃を与えないでください。
⚠ 注意	● 本機はA級動作アンプとなっておりますので、天面が熱くなりますが故障ではありません。 ● 本機はA級動作アンプですので、上部のスリット部をふさがないでください。また他のパワーアンプなど、発熱する製品の上には置かないでください。 ● 布などでおおわないでください。 ● 本機を縦にして使用しないでください。 ● 電源プラグの抜き差しは本体の電源を切り、必ずプラグ部をまっすぐ持って行ってください。 ● 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿な場所やほこりの多い場所に置かないでください。 ● 電源ケーブルは伸ばしてお使いください。束ねたままで使用したり、釘などで固定しないでください。 ● 水がかからないようにしてください。 ● 火気に近づけないでください。 ● 本機の上に水の入った物（花瓶など）や火気のある物（ろうそくなど）を置かないでください。 ● 長時間使用しない時には、電源プラグを抜いてください。保管する際には、機器をビニールなどで包み、湿気を帯びないようにしてください。

メンテナンス上の注意

● 汚れたときやほこりが付いたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
● ベンジン、シンナーなどは使わないでください。プラグ部に接点復活保護液を使わないでください。

使用上の注意

● より良い音質を得るために、高性能なヘッドホンと合わせてお使いになることをおすすめします。

● 本機のヘッドホン出力端子はステレオヘッドホン専用です。ステレオヘッドホン以外の製品は絶対に接続しないでください。

● φ3.5ステレオミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、必ず付属の変換プラグをお使いください。

＊ 本機は音質を向上させる為、接点圧力の強いジャックを採用しています。
一部の指かかり部分の寸法が短いプラグではジャックから抜けなくなるおそれがあります。

● 電源オン/オフする時ならびにヘッドホンを接続する時は、必ずボリュームを最小にしてください。（「MIN」方向に止まるまで回す。）
予期しない大きな音量が出て、聴力に悪影響を与えたり、接続したヘッドホンの故障の原因になる場合があります。

● 電源を入れても電源インジケーターの色が変わらない（オレンジ色のままの）場合、またはオレンジ色が点滅する場合、本機は正常動作をしていません。（**「各部の名称と機能」**②を参照）
この場合は本体の電源を切り、下記の項目をご確認ください。

＊ 電源を入れたまま確認を行わないでください。正常動作に復帰しない可能性があります。

1. ヘッドホンのプラグがきちんと奥まで差し込まれているか。
2. ヘッドホンのケーブルに断線などの不具合が無いか。
3. 本体付近に高周波ノイズが発生するものが無いか。（この場合、保護回路が働いて電源インジケーターがオレンジ色に点灯します。）

確認が終わりましたら、電源を入れ直してください。それでも状態が変わらない場合は当社の相談窓口までお問い合わせください。

各部の名称と機能

フロントパネル

リアパネル

① 電源スイッチ
電源をオン/オフするプッシュ式スイッチです。押すとオンになり電源が入ります。もう一度押すとオフになります。

② 電源インジケーター
電源をオンにすると約6〜7秒オレンジ（スタンバイ状態）に点灯し、その後グリーン（動作状態）に点灯します。オレンジのインジケーターが点滅する場合は**「使用上の注意」**を参照ください。

③ ヘッドホン出力端子
φ6.3標準ステレオのヘッドホン端子です。同時に2台のヘッドホンが使用できます。
＊ヘッドホンの種類によっては聴こえる音量に差がある場合があります。
＊「使用上の注意」をご参照ください。

④ ボリューム
③に接続されたヘッドホンの音量を2台同時に調整します。ノブをMIN方向に回すと音量が小さくなり、MAX方向に回すと大きくなります。

⑤ 入力端子
ピンケーブルでCDプレーヤーやアンプのライン出力端子と接続します。DC DIRECT入力端子とAC COUPLED入力端子を装備しております。
通常はDC DIRECT入力端子へ接続してください。
＊同時使用はできませんのでご注意ください。

⑥ 電源ケーブル用インレット
付属の電源ケーブルを接続します。

⑦ AC電源ケーブル（2.0m）
家庭用100V、50/60Hzをご使用ください。

接続のしかた

＊接続する機器の取扱説明書をあわせてお読みください。
＊各機器の電源を必ず切ってください。

1. 本機のDC DIRECT入力端子と接続機器（CDプレーヤー、アンプなど）のライン出力端子をピンケーブルで接続します。
2. AC電源ケーブルを本体（裏面）のインレットに差し込み、AC100Vコンセントに差し込みます。プラグには上図のように極性マークがあります。極性マーク側がコンセントの接地側になるように差し込んでください。コンセントに極性表示が無い場合は、お好みの音質になる方でお楽しみください。
3. 接続機器の電源スイッチをオンにします。
4. 本機の電源スイッチをオンにします。
5. 本機のボリュームを絞ってからヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。DC DIRECT入力端子に接続して音が出なかった場合は、AC COUPLED入力端子へ接続してください。

＊ ボリュームを上げたまま大音量の信号が本機に入力されている状態で、ヘッドホンプラグを本機に抜き差しした場合、一時的に電源インジケーターがオレンジになり、音声がミュートされますが、6〜7秒後に復帰します。これはアンプの保護回路が働いたためですので故障ではありません。
＊ ボリュームノブを回転させた際、「ガサ・ガサ」音が発生する場合は、AC COUPLED入力端子をご使用ください。
＊ お手持ちのヘッドホンプラグがφ3.5ステレオミニの場合は、付属の変換プラグをお使いください。変換プラグによっては、ジャックからプラグが抜けなくなる場合があるのでご注意ください。**「使用上の注意」**をご参照ください。